

令和6年度日本ボーイスカウト千葉県連盟事業計画

日本連盟創立100周年を契機に、日本連盟より新たな100年に向けての挑戦として、第3期中長期計画（2023年度～2032年度）が発表され、計画最終年である2032年度の日本のスカウティングのあるべき姿が2032ビジョンとして示されました。

2032ビジョンでは、団・地区・県連盟・日本連盟といったスカウト運動のすべての組織が、地域の団体や課題の解決に取り組む多くの団体や様々な企業等と連携し、国際社会や地域から必要とされる存在になっていること。活動面では、青少年の意思決定プロセスへの関与を一層増やし、スカウティングの持つ本質的教育力を効果的に発揮出来るよう進歩制度を再構築すると共に、適切な支援を受けて成長を続ける成人指導者により地域や社会との接点を持ったプログラムが青少年に提供されること、さらに組織運営においては、外部人材、若者、女性などの参画を進めることで多様な価値観に支えられる組織となりながら、財政基盤の確立やICTの活用に積極的に取り組み、少子化が進む状況にあってもスカウト運動の全組織として「B-Pのラストメッセージ」が示唆する「より良い世界をつくることに貢献」し、「幸福な人生を歩む青少年」を一人でも増やすため、いつでもスカウト運動に関われる仕組みを構築すると謳っています。

このビジョン達成のため、中長期計画では10年間で重点的に取り組む4つの基本施策の下、諸施策、重点事業が策定されました。

千葉県連盟は、本年連盟創立75周年の節目の年度を迎え、このあるべき姿の具現化に向けて、昨年度再編成された新地区の運営と団支援施策を強化すると共に、従前より取り組んで来た「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」、「スカウト運動の価値を高め、更なる加盟員拡大、中途退団抑止」に務め「元気な団を作ろう!!」を継続することを基本方針に、第3期中長期計画に示される諸施策を県連盟施策に順次織り込んで行く事として周年事業を含め推進することとします。

【基本方針】

- ・活動的で自立したスカウトを育てよう!!
- ・元気な団を作ろう!!
- ・スカウト運動の価値を高めよう!!

【重点目標】

- ・質の高い活動に取り組みます。
- ・保護者と活動する地域へスカウト運動の取組みをアピールし、連携強化に取り組みます。
- ・プログラム活動の楽しさを体験する事により、中途退団の抑止に努め加盟員の拡大と組織拡充に取り組みます。
- ・隊指導者、地区コミッショナー、団の経営者等人材の育成強化に取り組みます。
- ・県連盟の運営基盤の強化に取り組みます。

【重点施策】

1. スカウト活動の単位である「団」の教育力の向上と団運営責任者（団委員長）への支援に取り組めます。
 - (1) 団委員長が、団経営者として経営能力と問題解決力を高め、行動出来るよう支援を強化します。
 - (2) スカウト運動の理解者、仲間をふやすため、ボーイスカウト講習会に多くの方が参加出来るよう環境を整えます。

- (3) スカウト教育の本質を理解し充実した活動プログラムを提供できる指導者を養成するために、ウッドバッジ実修所・団委員実修所の参加を支援します。
 - (4) セーフ・フロム・ハームへの理解促進と「思いやりのこころを育む教育」を積極的に推進します。
2. 組織強化、人材確保と育成、経営基盤強化に取り組みます。
 - (1) 地区再編結果を踏まえ社会連携のための地域連携委員会の設置を検討します。
 - (2) 県連盟の法的地位を確立し、社会的信頼度を向上並びに県連盟の経営基盤強化に取り組むため「一般社団法人日本ボーイスカウト千葉県連盟」を設立し、移行します。
 - (3) 質の高い指導者訓練が実施出来るよう研修施設の確保に務めると共に指導要員の育成を強化します。
 - (4) 経営基盤強化の具体的活動として、日本連盟維持会員・千葉県連盟維持財団支援者の拡充を進めます。
 - (5) サポーター会員（2号会員の募集）登録を進めます。
3. 地区再編に伴う地区組織等の合理化と地区人材の活用を進める事により団への支援を強化することとし、スカウト活動の基本単位である団組織の標準化をめざします。
 - (1) 地区内各団相互の交流を進めます。
 - (2) 班・組の活動を通じて、プログラムに参画するスカウトが自らの考えで行動し、仲間との活動が楽しいと感じられる体制として、全ての団が複数班、複数組（標準隊を目標に）を目指します。
4. 質の高い楽しいプログラムを提供すると共に、中途退団の抑止並びに加盟員拡大に向けて取り組みます。
 - (1) 全部門のスカウトが活動に求める「楽しさ」と保護者が求める「教育的価値」を併せて展開出来る活動を目指します。
 - (2) スカウト教育法の理解促進と実施展開が出来る隊指導者の育成を進めます。
 - (3) SDGs への取り組みとして Earth Tribe の導入を推進し団や隊が様々なプログラム展開の中で、展開が出来るよう支援します。
 - (4) 各団において広く一般の方々を対象にワクワク自然体験遊びを通じて、スカウト運動への興味と理解を深めて頂く機会を提供出来るよう支援します。
 - (5) 大学ローバーの設立を目指します。
 - (6) 時代に則した SNS 等も活用し、多くの方々がスカウト活動や体験活動等の情報に直接アクセスが出来る体制を整備します。（欲しい情報に直接たどり着けるように）
5. 隊指導者、地区コミッショナー、団の経営者(団委員)等人材の育成・強化に取り組みます。
 - (1) Adults in Scouting (AIS) のさらなる理解と周知を推し進め、成人のライフサイクルに関わる理解を深めるため、本運動に関わるさまざまな役務を担う成人指導者への学習の機会を確保すると共に支援と訓練を提供します。
 - (2) スカウトの保護者等本運動に関わる全ての人々を対象としてボーイスカウト講習会を開催します。
 - (3) 隊長としての基礎訓練としてウッドバッジ研修所スカウトコース並びにウッドバッジ研修所課程別研修を開催します。
 - (4) 隊長としての役割を果たすために、ウッドバッジ実修所(各課程)への参加を支援します。
 - (5) 団指導者(団委員長・団委員)として円滑な団経営を行うために団委員研修所並びに上級訓練の団委員実修所への参加を支援します。
 - (6) コミッショナーへの支援としてコミッショナーベーシックトレーニング、コミッショナー任務別研修(地区コミッショナー)への参加を支援します。

【重点事業】

- (1) 千葉県連盟創立75周年記念事業の推進
- (2) 第13回日本アグーナリーへの千葉県連盟派遣団派遣
- (3) 千葉県連盟のデジタル化の推進
- (4) ワクワク自然体験活動の積極的活用
- (5) 全国防災キャラバンの継続実施

《コミッショナー活動方針》

～団の教育力を向上し、地域でのスカウト運動のプレゼンスを高めます～

県連盟内のすべてのコミッショナーは、スカウト運動の主役であるスカウトが幸福な人生を歩むことが出来るように、本活動方針により団・隊の支援にあたります。

団が教育力を高め、活動的で自立したスカウトを育てることが出来るように、コミッショナーは団や隊の身近な支援者として活動を展開します。

総コミッショナー活動方針による団・隊の支援を各運営委員会、地区コミッショナーと連携し推進します。

1. 充実したプログラムが提供できるよう指導者の資質向上に取り組みます。
各部門の「教育の目的」と「活動の目標」を達成できるプログラムが提供できるように隊指導者の支援に取り組みます。
ラウンドテーブルの充実に向けて、引き続き県連盟共通のテーマを部門毎に設定して実施展開します。
2. スカウト教育法に基づくプログラムと、スカウトスキルに裏打ちされた野外活動が展開でき、スカウト運動の価値を再認識し実践できるよう隊指導者へのインサービス・サポートを充実させます。
スカウト教育法を活用したプログラムの展開、プログラム立案におけるスカウトの参画の実現とスカウティングの価値(班制教育、成人の協力、進歩、野外活動、累進的一貫性教育)をプログラムにおいて実践出来るよう指導者を支援します。
3. スカウト・青年の参画を進めます。
「スカウト・青年の参画方針」に基づき、スカウトの年代に応じた意思決定への参画を進めます。青少年の青少年による活動であることの啓発と、実現に向けた支援を進めます。
4. 県連盟、地区、団における AIS の推進を進めます。
日本連盟の AIS 方針に基づき、スカウトの成長に貢献するために、様々な成人を獲得し、団、隊の運営と効果的なプログラムが提供できるように、団委員長、隊指導者を支援します。
5. 県ローバース会議と連携し、ローバースカウトの「自己の確立」を支援します。
ローバースカウトと指導者との良いコミュニケーションによりスカウトにこの部門の特色である「心身の鍛錬による奉仕能力の向上」や「国際性の涵養」の機会を提供します。
6. 団の自己診断(全団調査)を活用し、地区コミッショナー、団担当コミッショナーと協働し、各団の状況に併せた支援を推進します。
団継続審査、全団調査をはじめとする各種データを通して、団・隊の現状を把握し、団委員長との対話を通して、団の強み、何が必要なかを共に考えます(団訪問の推進)。
加えて団持続性サイトを活用し支援策を立案し団の教育力向上を推進します。
7. 日本連盟第3期中長期計画への取り組み
団と県連盟が地域から必要とされる存在となっており、「より良い世界をつくる」ことに貢献する青少年を一人でも多く育てるために、中長期計画における県連盟の取り組みを推進します。

8. 団・隊指導者の支援を充実させるため、コミッショナーグループの更なる質の向上に向けたトレーニングを推進します。

スカウト運動の推進者であるコミッショナーとしての資質の向上に取り組みます。

コミッショナーベーシックトレーニングコース、県内コミッショナー会議・研究会などを通して、コミッショナーの支援力の更なる向上に取り組みます。

《事業》

(1) スカウト委員会

スカウト関係事業については、活動的で自立したスカウトを育てるために、スカウトの進級の支援と促進、プログラム関連事業の充実を図ることを目的に、以下の事業を進めます。

- ① ボーイスカウト救急法講習会を年3回、看護法講習会を年1回開催し、関連進級課目の履修、技能章取得を支援します。講師、指導員の勉強会を通じて、スタッフの資質向上と講習会の質の向上に取り組みながら、講師、指導員の発掘を推進します。
- ② スカウトの進級を促進、奨励し、地域におけるスカウト運動の存在感を高めるため、富士スカウト及び隼スカウトに対する顕彰会を開催します。併せて、地区における菊スカウトの顕彰、団での進級章を積極的に推進することを奨励します。
- ③ スカウト、指導者に多様な活動事例を提供し、プログラムの活性化を図るとともに、上級部門への上進、隼富士スカウト章への進級意欲を高めることを目的として、「スカウト活動発表会」を開催します。過去の評価を踏まえ、コミッショナーとの連携をし準備をします。
- ④ 信仰奨励の支援を目的として、各地区での講和会の開催に取り組みます。
また、県連盟としての宗教章、信仰奨励章取得についての勉強会等を企画開催します。
- ⑤ 全団調査を踏まえた委員会としてのあり方を協議し、スカウトの進歩進級に貢献できる事業に取り組みます。
- ⑥ 国際関係への取組みとして、ボーイスカウトアメリカ連盟極東地区との情報交換を通じて、国際活動(フレンドシップパトローリー、パインウッドダービー)への参加支援をします。
各種海外派遣の情報発信に対して、きめ細やかな対応をします。
- ⑦ ジャンボリー・オン・ジ・エアー、ジャンボリー・オン・ジ・インターネット特別会場を設置し、通信機器の利用、通信技術の理解を通じ日本中、世界中の仲間との交流機会を設けます。
- ⑧ 第13回日本アグーナリーへの参加を促進し、県連盟派遣隊の結成に取り組みます。
- ⑨ 隔年開催である日本連盟主催「全国スカウトフォーラム」開催年にあたるため、県連盟スカウトフォーラム開催に向けての支援をします。

(2) 指導者養成委員会

指導者養成関連事業としては、ボーイスカウト講習会・ウッドバッジ研修所等の定型訓練に加え、団委員研修会の開設の他、他委員会とも連携して各種指導者向け訓練を開設、支援し、教育力の向上と人材育成を目指します。

さらに委員会業務の効率化を図り、研修機関開設業務の質的改善を進めます。

- ① 成人向け導入研修として、ボーイスカウト講習会、団委員研修会の開設を支援します。
保護者を始め一般の方にも広く参加いただけるよう開催案内を見直して参加者増を図り、スカウト活動への理解を深めていただくことで、本運動を支える方々のすそ野を広げ、今後の人材の発掘につなげます。
- ② 隊指導者向け基礎訓練として、ウッドバッジ研修所スカウトコース、課程別研修を開設します。

スカウト教育法の理解促進と実施展開ができる隊指導者を育成し、楽しく、教育的価値を併せ持つプログラムを提供することで、活動の魅力を高めて中途退団の抑止につながるよう支援します。

- ③ 団指導者向け基礎訓練として団委員研修所への参加を支援します。
スカウト活動を支える基盤となる団の運営について学ぶことで、団組織の活性化と地域社会との連携が実践できる団指導者の育成を目指します。
- ④ 隊指導者・団指導者上級訓練として、ウッドバッジ実修所、団委員実修所等の上級訓練への参加を支援します。
- ⑤ コミッショナー研修として、コミッショナー・ベーシック・トレーニングコース、任務別研修地区コミッショナー課程への参加を支援します。
- ⑥ 安全で質の高いプログラムを提供できるよう、コミッショナー・他委員会とも連携の上、以下の事業を実施あるいは支援します。
 - ・日本赤十字社救急法基礎課程講習会、同救急員養成課程講習会
 - ・水のプログラムの安全に関する講習、進歩の研修会
- ⑦ これらに事業を円滑に推進するため、所有資機材の維持管理、研修用備品の更新・調達を行います。

(3) 運動拡充委員会

第3期中長期計画に則し、一人でも多くの青少年が将来幸せな社会人に成長するため、運動拡充委員会として下記の事業計画「案」を全力で推進すべき次の①から⑤を展開します。

- ① ワクワク自然体験あそび活動の積極的活用
全団実施を目指し地区と協働して支援します。
地区と連携して体験活動の効果を分析し、その効果的情報をフィードバックして団の活性化のため推進支援します。
- ② 全国防災キャラバンの継続実施(共催：イオンモール株式会社)
「全国防災キャラバン」では、いつか必ず起きるといわれている大規模災害に備えるため、地域の防災意識向上、子どもたち一人ひとりの備える力を向上させることを目指し、継続して開催推進します。
地域の防災力向上に寄与し、ボーイスカウトの公益性を社会に発信することを目指します。
- ③ 「スカウトちば」年3回 継続発行実施
地域の子どもとその家族を対象にボーイスカウトの公益性を社会に広く発信することを目指して、より魅力的な発行を推進します。
- ④ 令和6年度 千葉県忠霊塔拝礼式奉仕
毎年8月15日の「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の政府主催による全国戦没者追悼式に合わせ、戦没者を追悼し平和を祈念するため、千葉県忠霊塔においても拝礼を実施して戦没者を追悼し、恒久平和を願い学ぶ場とする良い機会であり、スカウトの奉仕を継続推進します。
- ⑤ 令和6年度 アクアラインマラソン奉仕
地域社会に根差すスカウティング、地域に貢献できることで、その価値を高めて地域社会、行政等を中心にスカウトが貢献できる事業に積極的参加を推進支援します。

(4) 総務委員会

重点目標に掲げられた「県連盟の運営基盤の強化に取り組みます。」に向けて各委員会と連携し次の事項についての取り組みを強化します。

- ① 令和7年4月1日よりの千葉県連盟の一般社団法人化に向けて、組織評価特別委員会と協働して準備作業に取り組みます。
- ② 日本連盟需品販売業務を含め事務局の業務内容を精査整理し、業務改善に取り組みます。
- ③ 県連盟財政基盤強化を図るため、千葉県連盟維持財団会員と日本連盟維持会員の会員数増強を図り、千葉県連盟維持財団助成金および日本連盟会費還付金の確保に努めます。
- ④ 県連盟倉庫、事務局内保管場所等に収納されている保管物の整理、維持管理を行います。
- ⑤ 県連盟運営に関し他の委員会所管に属さない業務について、対応等に努めます。

(5) 「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会

県連盟の「スカウト教育の質の向上」「安全で安心できるスカウト運動」を推進します。

- ① 県連盟内のセーフ・フロム・ハームの意識の向上を図ります。
スカウトに対しては、「思いやりの心を育む」教育の推進をします。
指導者に対しては関連情報を提供し、セーフ・フロム・ハームセミナーの実施を支援します。
県連盟事業開催時、セーフ・フロム・ハーム推進の取り組みに対し支援します。
- ② 県連盟内の安全に関する意識の向上に努めます。
スカウト活動の安全を促進するため、安全教育の推進に努めます。
安全に対する意識の向上を目指し、安全普及フォーラムの実施を支援します

(6) ローバース会議事業計画

県内のローバースカウト・同年代指導者の活動の活性化を図るべく、次の施策に取り組みます。

- ① 構成員数の減少を見据え、構成員全体への支援方法（通信の系統を含む）を見直し、それら実情に応じて自治の基盤を構築します。
- ② 地区ローバース等の協力を得て、各種メディアを用い、地域のローバー活動の総合力を対外的に発信します。
- ③ 全国ローバースカウト会議・同関東ブロックの施策に協力し、事業への参加を支援します。
- ④ 県連盟事業への参画を支援し、地域のスカウト・青年参画を促進します。
- ⑤ 構成員の活動を活性化させる事業の創出について検討し、活動機会の提供に必要な取り組みを行います。
- ⑥ クラウドやWeb会議のICTを最大限に活用し、運営会議の業務の効率化・適正化を行います。
- ⑦ その他必要な取り組みを行います。

(7) 組織評価特別委員会

千葉県連盟の一般社団法人化に向け、次の活動を推進します。

- ① 令和6年度中に一般社団法人を設立するための諸手続きを進めます。
- ② 令和7年度を一般社団法人として運営するため、県連盟業務のスムーズな移行を支援します。

(8) 県連盟創立75周年事業

- ① 創立75周年記念式典・記念事業の実施・記念史の編纂